



四旬節第2主日(マタイ 17:1-9)

わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです

今日は、初聖体を迎える方々のためにお話をしたいと思います。皆さんがいただく御聖体は、白い小さなパンで、そこにはイエス様がおられます。「アーメン」と声を出して受け取って、舌に乗せていただきます。「聖体拝領」と言います。これから、ミサに出ている大人の人と同じだけ、ミサのお恵みを全部いただけるようになります。だから聖体拝領できるようになった今日は、素晴らしい日です。

このお話の前に、神父様がイエス様の物語を読みました。イエス様と何人かの弟子たちで山に登ると、イエス様が「顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった」(17・2)とありました。弟子のペトロはビックリしましたが、それでも嬉しかったので「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです」(17・4)と言ったのです。

イエス様の光り輝く姿を、大人の人たちは「神々しい」と言うと思います。神様にしかできないことを見たり、触ったりする。それを「神々しい」というのです。山の上でペトロとヤコブ、ヨハネの三人は、神々しいものを見たのです。

初聖体の皆さん。皆さんがいただく御聖体のイエス様は、「顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった」あのイエス様と同じ方です。神々しい方です。そのイエス様が、私たちの心と身体に来てくださいます。物語のペトロと一緒に言いましょう。「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。」

初聖体を受ける皆さんのお父さんお母さんも、大切なお子さんが、大切な家族が、初聖体を受けます。この素晴らしい体験を一度きりにすることなく、これからも大切にしてください。御聖体をいただく「素晴らしい体験」を続けるために、田平教会は土曜日の夜7時、日曜日の6時と9時にミサを用意しています。家族でミサに参加し、素晴らしい体験を続けていけるよう、ミサに参加するための時間を確保してください。

イエス様と一緒に山に登って素晴らしい体験をした弟子たちは、もう一つの声を見ました。光り輝く雲が彼らを覆って「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」(17・6)という声が雲の中から聞こえたのです。

教会にこれから来て、御聖体をいただいて素晴らしいことを味わいますが、では「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け」という声を聞くのでしょうか？中田神父様の答えは「はい」です。聖書を通して、日曜日でしたら三つの朗読を通して、「これはわたしの愛する子ですよ。愛する子イエスの招きに耳を傾けてくださいね」という招きを、父なる神様が日曜日の三つの朗読から聞かせてくれます。

初聖体のお恵みはもうそこまで来ています。「わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです」の体験はもうすぐそこまで来ています。大きな期待を胸に、このミサを続けていきましょう。